

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成16年10月7日(2004.10.7)

【公開番号】特開2000-321378(P2000-321378A)

【公開日】平成12年11月24日(2000.11.24)

【出願番号】特願2000-62426(P2000-62426)

【国際特許分類第7版】

G 0 4 C 3/14

G 0 1 D 18/00

G 0 4 G 1/00

G 0 4 G 3/02

【F I】

G 0 4 C 3/14 P

G 0 1 D 18/00

G 0 4 G 1/00 3 0 7

G 0 4 G 3/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成15年9月25日(2003.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被駆動ユニットを駆動する駆動用モータコイルと、  
前記駆動用モータコイルを介して外部より入力された同期信号である外部同期信号に同期して、外部より入力された調整データを受信する調整データ受信手段と、  
受信した調整データを記憶する調整データ記憶手段と、  
記憶した前記調整データに基づいて当該調整データに対応する被調整部の調整を行う調整手段と、  
を備えたことを特徴とする電子機器。

【請求項2】

請求項1記載の電子機器において、  
前記調整データ受信手段は、前記駆動用モータコイルを介して外部より入力された調整モード移行信号に基づいて動作モードを調整モードに移行し、前記調整モードに移行した場合に前記調整データを受信する、  
ことを特徴とする電子機器。

【請求項3】

請求項2記載の電子機器において、  
前記調整データ受信手段は、前記調整データの受信が終了すると前記調整モードを終了することを特徴とする電子機器。

【請求項4】

請求項2記載の電子機器において、  
前記調整データ受信手段は、調整モードに移行して一定期間が経過すると、前記調整モードを終了することを特徴とする電子機器。

【請求項5】

請求項1記載の電子機器において、

前記駆動用モータコイルを介して内部同期信号を送信する内部同期信号送信手段を備え、前記調整データ受信手段は、前記内部同期信号に同期して外部より入力される調整モード移行信号を、前記内部同期信号に同期して受信する、ことを特徴とする電子機器。

【請求項 6】

請求項 1 記載の電子機器において、

ユーザが動作モードを調整モードに移行させるための指示入力を行うための操作入力手段と、

前記操作入力手段を介して前記指示入力になされた場合に、予め定めた所定期間の間動作モードを調整モードに移行させる動作モード移行手段と、

前記調整データ受信手段は、前記動作モードが調整モードに移行された場合に前記調整データを受信する、

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 7】

請求項 6 記載の電子機器において、

前記動作モード移行手段は、

前記操作入力手段を介して前記指示入力になされた場合に、予め定めた一定期間の間に前記調整モード移行信号を受信した場合のみ動作モードを調整モードに移行させることを特徴とする電子機器。

【請求項 8】

請求項 1 記載の電子機器において、

前記被駆動ユニットは、アナログ指針により計時動作を行うアナログ計時ユニットであり、

前記調整データは、歩度調整データ、温度補正データあるいは仕様切換データのいずれかであることを特徴とする電子機器。

【請求項 9】

請求項 1 記載の電子機器において、

計測対象の計測を行うセンサ手段を有し、

前記調整データは前記センサ手段の調整用データであることを特徴とする電子機器。

【請求項 10】

請求項 1 記載の電子機器の調整を行うための電子機器の外部調整装置であって、

前記駆動用モータコイルを介して前記外部同期信号を前記電子機器に送信するための外部同期信号送信手段と、

前記外部同期信号に同期して前記調整データを送信する調整データ送信手段と、

を備えたことを特徴とする電子機器の外部調整装置。

【請求項 11】

請求項 1 記載の電子機器の調整を行うための電子機器の外部調整装置であって、

前記電子機器の動作モードを調整モードに移行させるための前記調整モード移行信号を送信する調整モード移行信号送信手段を備えたことを特徴とする電子機器の外部調整装置。

【請求項 12】

請求項 5 記載の電子機器の調整を行うための電子機器の外部調整装置であって、

前記内部同期信号を受信し、前記内部同期信号に同期して前記調整モード移行信号を送信する調整モード移行信号送信手段を備えたことを特徴とする電子機器の外部調整装置。

【請求項 13】

被駆動ユニットを駆動する駆動用モータコイルを有する電子機器の調整方法において、

前記駆動用モータコイルを介して外部より入力された同期信号である外部同期信号に同期して、外部より入力された調整データを受信する調整データ受信工程と、

受信した調整データを記憶し、記憶した前記調整データに基づいて当該調整データに対応する被調整部の調整を行う調整工程と、

を備えたことを特徴とする電子機器の調整方法。

## 【請求項 14】

請求項 1 記載の電子機器の調整を行うための電子機器の外部調整装置の制御方法であって

前記駆動用モータコイルを介して前記外部同期信号を前記電子機器に送信するための外部同期信号送信工程と、

前記外部同期信号に同期して前記調整データを送信する調整データ送信工程と、

を備えたことを特徴とする外部調整装置の制御方法。

## 【請求項 15】

請求項 1 記載の電子機器の調整を行うための電子機器の外部調整装置の制御方法であって

前記電子機器の動作モードを調整モードに移行させるための前記調整モード移行信号を送信する調整モード移行信号送信工程を備えたことを特徴とする外部調整装置の制御方法。

## 【請求項 16】

請求項 5 記載の電子機器の調整を行うための電子機器の外部調整装置の制御方法であって

前記内部同期信号を受信し、前記内部同期信号に同期して前記調整モード移行信号を送信する調整モード移行信号送信工程を備えたことを特徴とする外部調整装置の制御方法。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

[3.2] 外部調整装置の概要構成

図 9 に外部調整装置の概要構成ブロック図を示す。図 9 において、図 2 の第 1 実施形態と同様の部分には同一の符号を付し詳細な説明を省略する。

本第 3 実施形態の外部調整装置 30B が図 2 の第 1 実施形態の外部調整装置 30 と異なる点は、補正データ作成ユニット 37 に代えて複数の設定スイッチが設けられた入力ユニット 61 と、入力ユニット 61 の設定スイッチの設定状態を判別して設定状態データを出力する入力制御ユニット 62 と、設定状態データに基づいてアナログ電子時計 10B の A/D 変換ユニット 56 用の補正データを作成する補正データ作成ユニット 53 を設けた点である。

[3.3] 第 3 実施形態の動作

次に本第 3 実施形態の主要部の動作について説明する。

異なる複数の気圧で測定したデータに対応する設定を入力ユニット 61 の複数の設定スイッチにより作業者が設定すると、入力制御ユニット 62 は、入力ユニット 61 の設定スイッチの設定状態を判別して設定状態データを補正データ作成ユニット 63 に出力する。

補正データ作成ユニット 63 は設定状態データに基づいてアナログ電子時計 10B の A/D 変換ユニット 56 用の補正データを作成し、補正データ信号作成ユニット 38 に出力する。

この補正データの作成と並行して調整モード信号作成ユニット 36 は、コイル 31 および受信ユニットを介して受信したモータ駆動信号に同期した調整モード信号を生成し、出力する。